

1050004



東京都港区新橋五丁目一八一

新橋パークサイドビル2階

UCN 会

木林 一久 様

平成 20 年 10 月 2 日

森 一久様

赤内 行三 拝

前略 このたびは「仮想・立花昭記念館」をご恵贈くださり誠に有難うございました。

立花先生と直接的なかかわりはありませんが、先生はいつもパイロットインク壺をもっておられ、失礼ながら変わった人だと思っておりました。ところが、先生をよく知る原研の友人から、「彼は大秀才だ。知らないのか」と云われた記憶が鮮明にあります。

P 4 の写真を見ると、原研等でお世話いただいた方々のお顔がたくさんありました。

森一久・喜多尾憲助・石川寛・柴田長夫・武谷清昭・小川岩雄・夏目晴夫・大塚益比古・浅見哲夫先生などなど・・・。

それよりも、「原子力開発の渦中に身を投じて」の内容は、圧巻です。このような峻厳な事実を誰が後世に伝えてゆけるのでしょうか。

愚生も、いつの間にか 74 歳にもなりました。昭和 30 年代初期に、原研入社した時の喜びと原子力開発の末・末・末の席に鎮座できたことを誇りに思っています。

季節柄、くれぐれもご自愛なさいますように。有難うございました。

早々